

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目1-17
 編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成23年6月4日発行

第88号

去る5月14日に社団法人日本経営士会千葉支部の第3回(通算第56回)定時報告会が執り行われました。社会全体に東日本大震災による影響が広がっておりますが、被災地では復興の槌音が少しずつですが聞こえてきています。私たちも、それぞれの立場でできることで支援を続けていきたいと思っております。

ごあいさつ

(社)日本経営士会 千葉支部

支部長 西村 豊

平成23年3月11日に発生致しました、東日本大震災は東北地方を始め、多くの市町村に甚大な被害をもたらしました。被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。千葉県内におきましても旭市における津波による被害を始めとする直接的な被害だけでなく、香取市、浦安市等における液状化現象などの間接的な被害も大きかったように思います。福島第一原子力発電所被災による放射能汚染風評被害もその一つで、被害を受けられた農家の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災された地域におかれましては一日も早い復興をお祈りしております。

日本経営士会千葉支部では昨年度は、会員の皆様とのコミュニケーションを強化すべく活動に力を入れて参りました。具体的には、支部内ではホームページの改良、専門研究会活動の充実、公開講演会の開催等、対外的には公共団体や地元の企業さんとの交流等、千葉県に軸足を置いた社会貢献活動を目指して参ったつもりです。しかしながら残念ではありますが、退会者が入会を上回り、期末では期首に比べマイナス5名という結果となりました。今年度もまだ始まったばかりであります。既に2名の退会者が出ており、こういった傾向は千葉支部に限らず、全国各支部でも同様でありまして、日本経営士会全体として「高齢化」という課題が明確に浮き彫りとなった年でもあったように思います。

さて、本会は今年創立60周年を迎えます。平成20年12月に施行された公益法人制度関連法に伴い、5年間の移行期間の中で公益社団法人か一般社団法人かを選択しなければならない状況の中、昨年、一般社団法人への移行の意思を決定し、認定に向けて、本部では様々な改革が進行中でありまして。まずは本部事務所の移転縮小化、事務局員の削減、全国ブロック制による支部主体運営への移行、知名度向上や会員増強を目的としたイノベーションアワードの開催、賛助会員制度の新設などが代表的なものです。支部としてはその意を汲み、目標を共有しながら本部と一体となった活動を目指していかなければなりません。その為にも、会員の皆様との意思疎通を更に充実し、経営士ブランドの価値向上に向け、会員のレベルアップを図っていく必要があります。今年度は、研究会活動も一つメニューを増やし、現在のコンサルティング研究会の中に、

「環境経営研究部会」を新設致します。リーダーには、日本経営士会の環境分野ビジネスエコリーダーでご活躍の林久雄会員にお願いするつもりです。こちらはこれからメンバー募集を開始致しますので奮ってご参加頂きたいと思っております。世間には「日本経営士会といえば、60年の歴史ある日本唯一の経営コンサルタント団体である」ということを知っていただくためにも、尚一層の努力が必要であるといえます。どうか今期も会員の皆様の絶大なるご支持とご支援を賜りますよう、お願いを申し上げます。

第56回 (千葉支部第3回) 定時報告会開催

平成23年5月14日(土)午後1時より、千葉市京葉文化プラザにおいて、千葉支部の第56回定時報告会が開催されました。

山田会員の開会のことばの後、物故会員と東日本大震災で亡くなられた方への黙祷を行い、その後西村支部長のあいさつ、来賓として鶴岡常任理事から本部動向に関するお話をいただきました。

議長として西村支部長が選出され議事に入りました。

まず、鈴木副支部長より平成22年度の事業報告が行われ、各研究会、公開講演会など実施事業の成果が報告されました。同じく平成22年度の収支報告は大塚会計担当監事より行われ、岩野監事の監査報告により、平成22年度に関する審議事項は決議されました。

西村支部長より支部運営方針として、「本部と一体になった活動をし、会員との意思疎通を進めていくことで経営士ブランドの価値向上を目指す」などの方針が示され、山田会員から月例研修会等の改革案、大塚会員から平成23年度の収支予算の説明で、すべての議事が承認されました。

報告会終了後、能楽師 橋岡 久太郎 様より、「ちばが世界に誇る伝統文化の継承」と題して、特別講演が行われ、興味深いお話をたくさんお話いただきました。その後会場を移して懇親会が開かれ、来賓、講師も参加され名刺交換や、ちばを語る有意義な時間を持つことができました。

会 場：千葉市 京葉文化プラザ
議 長：西村 豊 会員
書 記：林 久雄 会員、千葉道生 会員
議事録署名人：鈴木弘道 会員、高野充昭 会員

審議事項

- (1). 平成22年度事業報告承認の件
- (2). 平成22年度決算報告承認の件
- (3). 平成23年度監査報告の件
- (4). 平成23年度事業計画(案)承認の件
- (5). 平成23年度予算(案)承認の件

総会の様子



ごあいさつする西村支部長



経営士フェロー表彰される藤江会員



般若の面と橋岡氏



懇親会の様子



懇親会の様子



第56回 定時報告会記念講演

能楽師 シテ方観世流
九世 橋岡 久太郎 氏

演題「ちばが世界に誇る伝統文化の継承」

千葉支部は千葉県を軸足とした地域貢献を旗印に、外に向けての情報発信の強化に努めております。定時報告会後の特別講演会は、千葉県佐倉市に在住の能楽師シテ方観世流九世 橋岡久太郎 氏に日本の伝統文化である「能」についての講演をして頂きました。講演会に出席された方たちは、橋岡氏の話に食い入るように最後まで真剣な眼差しで聞き入る姿が印象的でした。講演の最後に、橋岡家代々の宝物である能面を見せていただき、皆様、大変に興奮された様子でした。講演内容を掻い摘んでみますと、以下の通りです。

「能」は650~700年前から続いている世界に誇る伝統文化である。かのシェークスピアより200年以上も古くから伝わり、途切れることなく続いている舞台芸術というものは、世界に類を見ないものである。

シテとは能の主演を意味するが、主演を演じる流派としては世阿弥を祖とする観世流の他に宝生流、金春流、金剛流、喜多流の五流がある。金糸による総刺繍の絢爛豪華な装束に能面をつけ、白足袋を使用して演じる。使用する能面（おもて）によって、あらゆる人物を演じることが出来るのが、能の特徴といえる。豪華な衣装は400年を超えるものもある国宝級の世界一高い衣装である。まさに時代を背負った伝統の衣装を羽織って、舞台に臨んでいるのである。

能面を付けて演じることにより、能のシテ方は顔を面で覆うことで老いというものから超越して演じることができる。老いた演者でも、その所作は優雅で決して年齢を感じさせることはない。

舞台の上にはワキ方と呼ばれる脇役の演者もいる。面を付けずに演じるため老いた演者は、若者を演じることではない。他にも笛、小鼓、大鼓、太鼓の四拍子を奏する囃子方がいなければ舞台にならない。同じ打楽器である小鼓と大鼓は、小鼓は湿っていないと良い音がでず、大鼓は逆に乾燥していないと良い音が出ない特徴がある。そのため大鼓は舞台裏でかがり火で炙っておいたものを途中で交換し、小鼓はつばで濡らしながら演奏するということである。

能と同様に猿楽から発展した伝統芸能で、猿楽の滑稽味を洗練させた笑劇の狂言がある。大蔵流、和泉流、鷲流の流派があり、黄色の足袋を履いて演じる。能と違い狂言は素面で能面は使用しない。それは、シテ方に比べて一步引いた狂言の立場を表している。

能は三間四方の檜の舞台で演じられる。「世界の檜舞台」という言葉は、これを語源としている。よく磨きこまれた舞台は世界一清潔で、白い足袋を履いて1、2時間演じたとしても、その色が変わらないほどである。

能は大道具、小道具等の種類・数を出来るだけ減らした簡素化の中で、観客の方たちに能の演じた光景から想像力を豊にして状況を観る・感じていただくという手段をとる。それを離見とよび心象を尊び想像の上で演じたものが完結するという能の表現の真髄である。

「一期一会」という言葉がある。能の舞台は正にこの言葉通り、シテ方はその舞台を精魂込めて務めている。何故ならば能の演目は2、3千もあるが、そのうち橋岡氏のレパトリーは200~250である。役者として一生のうち同じ演目を何度も務めることはほとんど無い。従って演じているその時その時が一発勝負で、他の舞台劇と違い後で反省して次にはこう演じようということなどあり得ない。それだけ生死を賭けた真剣勝負の舞台といえよう。その気迫が、能を観ておられる観客の方々に伝わっていくものである。その心を伝えるもので能の世界から来た格言として「初心忘るべからず」とう言葉があるが、絶えず初めの時の心を持って望んでいく、基本を忘れるなという教えである。

能の舞台は老いた檜で出来ている。良く乾燥した大ぶりの檜の板を敷き詰めた舞台は時代を経ても狂いがなく、最上のステージを提供してくれる。千駄ヶ谷にある国立能楽堂を建造するときにも、上質の国産檜が少なくなっており、すべてを国産の檜で用意することができなかった。

能舞台の背景は「老松」が描かれているが、松が落ちる時は必ず二つになって地に落ちていく。この二つは落ちてでも夫婦は一緒という夫婦和合を意味する。いろんな演目の背景として主張しすぎない「老松」は、多くの能の舞台に切り離せないものである。

世界最大の能楽堂は名古屋にある。国立能楽堂より新しい能楽堂であり、その規模も国立能楽堂より大きいのである。その能楽堂を造るとき当時の市長が「老松」でなく「若松」がよいと主張したことにより名古屋能楽堂では、色鮮やかな「若松」が舞台背景となっている。しかし不評で年ごとに「若松」と「老松」を切り替えて使うこととなったそうである。

橋岡氏は会場に能面を2つ持参してきて頂いた。ひとつは、3百年は経つであろう小面で若い女性の顔をかたどっている。能面は顔の変化がないと思われているが、少し下に傾げるだけで憂いを帯びた表情をつくることができる。これを「くもる」といい、逆に真正面にすると「てる」といい力強い表情となる。これにより演者の思いのままに表情をつくり演じるのである。

もうひとつは、450年は経つといわれている国宝級の般若の面である。般若は女性の怨念と悲哀を表しており、その額に生えた角は鬼の姿そのものであり、それを隠す和服の結婚衣装は角隠しというわけである。豊臣秀吉は能をこよなく愛し、特に般若の面が一番のお気に入りであったそうである。この面の裏には秀吉から「天下一」の称号を与えられた、出目は閑吉満の銘がある。まさに国宝級の歴史の重みがある面であった。

私たちは、今回の橋岡九世による貴重な講演の中から、各自がそれぞれの思いを持って耳を傾けることが出来た時間であったかと思えます。これだけ長い年月を積み重ねてきた誇れる文化が、私たち日本にあることをもっと私たち自身が知っておかねばならないことでありましょう。

研修・研究会日程

	本部支部行事・支部行事	月例研修会	研究会	MPP
	事務局	山田 一	若月英司、西村 豊	中嶋清介
4月	30日(土) 幹事会 船橋市中央公民館 13:00～15:00	30日(土) 月例研修会 船橋市中央公民館 15:00～18:00 テーマ:環境関連	30日(土)コンサル研 15:00～18:00	
5月	14日(土) 千葉支部総会 京葉銀行文化プラザ 13:00～定時総会 14:30～特別講演会 「ちばが世界に誇る伝統的 文化の継承」 28日(土)幹事会 船橋中 央公民館 13:00～15:00		5/29 コンサル研 15:00～18:00 23日(月) 農業・観光研 18:30～20:30	
6月	10日(金) 本部総会 25日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00	25日(土) 月例研修会 船橋市中央公民館 15:00～18:00 テーマ:会計セミナー	未定 コンサル研 15:00～18:00 20日(月) 農業・観光研 18:30～20:30	
7月	30日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00	30日(土) コンサルティング 実践講座 船橋市中央公民館 15:00～18:00	未定 コンサル研 15:00～18:00 18日(月) 農業・観光研 13:00～17:00	
8月		27日(土) コンサルティング 実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00	
9月	24日(土) 幹事会	24日(土) コンサルティ ング実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00 19日(月) 農業・観光研 13:00～17:00	
10月	29日(土) 幹事会	29日(土) コンサルティ ング実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00 17日(月) 農業・観光研 18:30～20:30	
11月	26日(土) 幹事会	26日(土) コンサルティ ング実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00 21日(月) 農業・観光研 18:30～20:30	未定 千葉支部 MPP
12月	17日(土) 幹事会 年末懇親会	17日(土) コンサルティ ング実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00 12日(月) 農業・観光研 18:30～20:30	
1月	公開講演会(未定)	28日(土) コンサルティ ング実践講座		関東5支部合同 MPP
2月	25日(土) 幹事会	25日(土) コンサルティ ング実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00 20日(月) 農業・観光研 18:30～20:30	
3月	24日(土) 幹事会	24日(土) コンサルティ ング実践講座	未定 コンサル研 15:00～18:00 20日(月) 農業・観光研 13:00～17:00	

会議・研究会開催報告

第1回支部幹事会

平成22年4月30日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、林 久雄、千葉道生、榎田 國男、上條靖芳、
山下恭司、岩野邦久、藤江隆平、鶴岡義明

1. 研究会予算見直しについて
2. 総会準備について
3. その他報告事項
 - ・経営士フェロー該当者の報告
 - ・企業会計啓発・普及セミナーについて
4. 理事会報告

第56回千葉県会定時報告会

平成22年5月14日(土) 13:00~14:00

場 所 千葉市京葉文化プラザ

参加者 岩野邦久、榎田國男、大塚亜喜雄、上條靖芳、熊坂清弘、鈴木伸一、鈴木弘道、関 彦次郎、
高野充昭、千葉道生、鶴岡義明、新見健司、西村 豊、林 久雄、藤江隆平、松永清美、山下恭司、
山田 一、五十嵐昭平（東京支部）、島川憲夫（神奈川県会）

西村支部長のあいさつの後、議長選出。議長より書記、議事録署名人を指名のうえ、昨年の報告と以下の議題について審議され承認された。

- (1). 平成22年度事業報告承認の件
- (2). 平成22年度決算報告承認の件
- (3). 平成22年度監査報告の件
- (4). 平成23年度事業計画(案)承認の件
- (5). 平成23年度予算(案)承認の件

事後、記念講演「ちばが世界に誇る伝統文化の継承」と題し、能楽師シテ方観世流九世 橋岡 久太郎 氏より講演いただきました。その後、場所を買って懇親会が執り行われ歓談の後散会した。

4月度月例研修会

平成 22 年 4 月 30 日(土) 15:00～17:30

場 所 船橋市中央公民館

参加者 鶴岡義明、千葉道生、鈴木伸一、高野充昭、山下恭司、西村 豊、上條靖芳、大塚亜喜雄、
林 久雄、山田 一

テーマ 経営士の地域活性化活動

講 師 (有)つくばネットプラン 代表取締役 八代 穰 氏

平成 23 年度第 1 回目の月例研修会は、(有)つくばネットプラン代表取締役 八代 穰 氏を講師に招き、“これからの経営士はどうあるべきなのか。チームでドアをノックして稼ごう！”を旗頭に地元千葉県にどう貢献していくかを話して頂きました。八代氏は地元茨城県を中心に地域起しに深く関与されております。講義内容は氏の茨城への町おこしの経験談から千葉県への深耕を如何にしていくかのヒントを展開して頂きました。

1. 茨城県への町おこし活動

①中心商店街活性化プログラム

稲敷市江戸崎商工会、県振興公社指導による商店街活性化総合支援事業

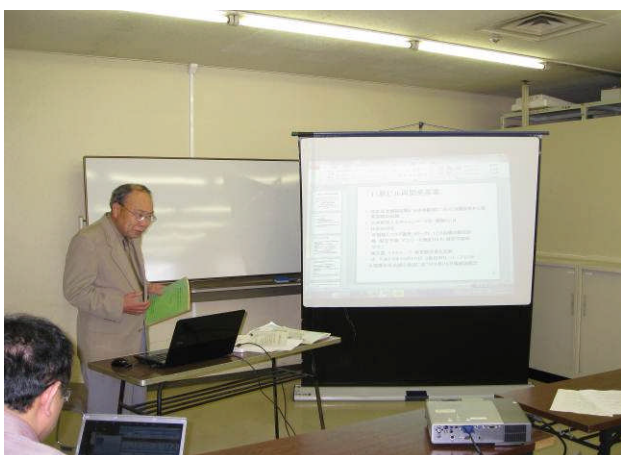
②つくばみらい市

片庭市長に対する町づくりについての提案

2. いすみ市・大多喜町・いすみ鉄道を一体化した上総のグリーンツーリズム構想の提案

少子・高齢化、過疎化の進む南房総の地域で現在、何が起っているのか。地域の実態は、地域住民は何を求めているのか。正確なデータ収集の中から、経営士として地域振興へのアプローチを探っていく必要がある。

講演の最後には、出席者から積極的な意見も出て、講師と課題を真剣に討論する場面も出て、従来の一方通行的な講義形式から、より活発な月例研修となりました。千葉支部が昨年度より千葉県に軸足を置いた地域貢献活動を展開するために、より開かれた情報の一般公開を目指すにふさわしい研修に一步踏み出した感があります。私たちが、今後地元に着した活動を展開するに当たっては、出席者から出た声の“もっと活発に外に向かって足しげく通って地域の情報収集をして、グループでその問題に如何に取り組んでいくかを検討し実行に移していけるか”が、これからの千葉支部会員の責務であり、今回の講師である八代氏の狙いでもあるようです。



3月コンサルティング研究会

平成 22 年 3 月 20 日(日) 15:030~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター研修室

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

(1) 東京商工会議所 各区支部あて小冊子送付準備

東京商工会議所 中小企業部 中小企業相談センター経営相談担当を訪問し、既にお預かりいただいている小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”」のその後の取り扱いについて確認した。当方より直接各区支部担当者宛に送付して欲しいとのことで研究会で小冊子送付の準備をした。

(2) 平成 22 年度収支実績及び平成 23 年度予算に関する支部へのお願いのまとめ

年度末も迫っているため、平成 22 年度収支実績及び平成 23 年度予算について確認し、必要な処置について支部にお願いすることとした。

- ・平成 22 年度収支実績見込み
- ・平成 23 年度予算について

4月コンサルティング研究会

平成 22 年 4 月 30 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター研修室

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

(1) 平成 22 年度収支決算監査

(2) 平成 23 年度予算について

(3) 千葉県経営者協会第 123 回経協フォーラムにおける当研究会の講演について

当研究会の大久保会員が、7 月 19 日(火) 15:00~16:30、フローラ西船(5 階扇の間)において講演する「間違いを直せば業績は改善する」について、千葉県経営者協会の中山事務局次長より事前に参加者にご案内する書状(案)の照会があった。講演会が参加者にとって有意義なものになるように本書状内容について検討した。検討結果は大久保会員より中山次長に連絡する。

5月農業・観光研究会

平成22年5月23日(月) 18:30~21:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 高野充昭 新見健司 八代譲 林久雄 山田一 千葉道生 山下恭司 西村豊

- (1) 平成23年度活動方針について
- (2) 千葉県農林水産部販売振興課への協力（農林水産省がすすめる6次産業総合推進事業への取組）
- (3) 千葉県農林水産部担い手支援課アグリトップランナー育成事業について
- (4) いすみ市、鴨川市の地域活性化に貢献する観光イベントについて
 - ①八代氏から提案・・・いすみ市・大多喜町・いすみ鉄道を一体化した上総のグリーンツーリズム構想
 - ②ちばの地域力向上・タイアップ事業補助金募集（千葉県総合企画部製作企画課地域振興室募集事業）
 - ・アクアラインの値下げ、圏央道の整備等に対応した地域づくり
 - ・県内での地域間世代交流の促進
 - ・移住、定住の促進
 - ・災害復興に資する取組
 - ③能楽師橋岡氏といすみ鉄道鳥塚氏との関係に力を注ぎ、イベント事業を成立させる
- (5) 今後の農商工連携への取組について
 - ※県の募集事業に関しては、もう少し早めの情報共有とメンバーでの議論が必要。



記事ご協力をお願い

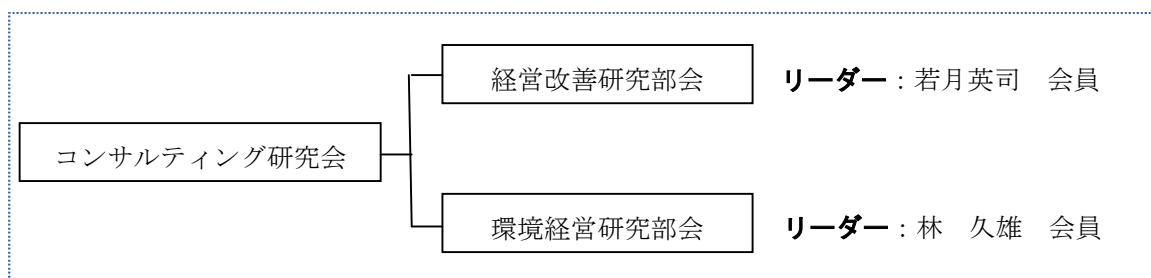
記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL : 090-5446-2808 FAX : 04-7133-1303

MAIL : shin_suzuki@nifty.com

コンサルティング研究会 環境経営研究部会 メンバーの募集

日本経営士会千葉支部では今期、新たな専門研究部会として、「環境経営研究部会」を設置致します。所属は現在の「コンサルティング研究会」のなかに、「環境経営研究部会」として位置づけることと致します。



日本経営士会では、環境保全活動の中で「環境経営士」の登録が可能となりました。「環境経営士」とは、企業への環境保全活動の助言指導のできるスペシャリストに対し「環境経営士」の称号を付与して、その活動を支援するものです。環境経営士称号付与については、次の3つの条件が必要となります。

1. 社団法人日本経営士会の会員であること（正会員又は賛助会員）
2. 社団法人日本経営士会主催の環境経営士養成講座アドバンストコースの修了者であること。
3. 環境関係資格保持者であること。（ビジネスエコリーダー、ISO14000 審査員（補）等の資格保持者）

又、本研究会は本部主宰の「環境社会創出プロジェクト」と連携し、環境経営士活動への各種支援を受けることが可能となります。

活動方針をお読み頂き、主旨にご賛同頂ける会員の方は、活動への積極的な参加をお願い申し上げます。

参加お申込みは下記へメールでご連絡をお願い致します。

林久雄会員 宛

E-mail : hayashi-hisao.ssi@yacht.ocn.ne.jp

携帯電話 : 090-2147-9934

環境経営研究部会の活動方針

1. 研究目的

中小企業支援のための“コンサルティングの幅”を広げるうえで環境経営を取り入れ、より広く公益活動に繋がる研究会とする。

(1) 経営士会が行う環境関連セミナーによる研修

- ①環境に関する知識をより広く、より深めていける
- ②環境と経営について企業からの相談に乗れる人材になれる
- ③個人でビジネス化ができる

の3つのメリットがありこれらを生かして社会が求めるコンサルタントに成長。

(2) 他事業団体とのコラボレーションにより広い活動が実践できる

これからの企業の利益は環境に対応した経営の中から生み出す利益にしていかなければならない。つまり企業経営には CSR の実践が欠かせない時代になりつつある。我々が環境経営コンサルタントを目指すなら、少なくとも行政から出される環境に関する指示、指定事項の内容が理解できること、実施方法を指導していけること等、側面から企業支援ができることが必要。

(3) 現在発生している企業がらみの環境諸問題

- ①エネルギー使用により発生する CO2 把握と削減対策/省エネ対策。
- ②企業内廃棄物処理、マニフェスト処理の確実な実行。
- ③公害問題、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、振動、騒音、悪臭排出などに対処できること。
- ④地域問題として森林破壊、海洋汚染、酸性雨、砂漠化、放射線汚染などこれらの根本対策への助言、苦情処理、支援が出来る人材が必要。

(4) コンパクトエコシステム(CES)について

日本経営士会が独自に開発した環境マネジメントシステム(EMS)、ISO14001 に代わり中小零細企業が容易に取り組める内容(改善活動、経費等)にしたコンパクトな環境経営評価システムを採用している。

(5) 取組段階の考え方

- ①まず我々経営士会会員は各種 EMS に共通する環境全般を習得しその上で環境マネジメントシステムを比較研修してメンバー各位が関係している企業が選ぶ EMS の支援に入る。
- ②CES を実施しながら環境保全活動の実情が分った段階で、 自社を取り巻く状況を考慮し ISO14001 や、エコアクション 21 などにステップアップするのが無理のない進め方といえる。

(6) 東京商工会議所が年間 2 回実施する ECO 検定試験の受験対策講座を開設。

県内各市町の商工会議所、 学校などへ紹介。

(7) その他、環境ビジネスの概要について研修内容。

2. 研究内容

	研究項目	研究対象
1	環境経営に必要な学習会 環境経営の進め方	支部会員、県内、中小企業、商工会議所、役所、 学校、病院、その他団体対象の環境学習会
2	会員向けCESの研修	千葉支部の他、北関東支部との合同研修も 企画実施
3	CES採用依頼 (システムの販売)	主に千葉県内中小企業対象
4	CES採用企業への指導実施	有料指導であり継続的指導を実施
5	環境対策優良企業 見学会、討論会、	関東圏環境優良企業対象(春、秋2回) [特別企画]震災復興現地現状視察、
6	ECO検定試験受験対策講座	県内各地商工会との連携で民間団体、学校等

教材

- (1) 環境全般についてはECO公式テキスト（東京商工会議所編）
- (2) 日本の環境行政については環境白書（環境省編）
- (3) 地元千葉県については千葉県環境白書（千葉県環境生活部環境政策課編）
- (4) その他新聞各紙、環境関連月刊誌等活用し時事問題を理解していく

研修、研究会実施のお知らせ

◇月例研修会のご案内

6月度

日 時 平成 22 年 6 月 25 日(土) 15:00~18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「財務諸表から学ぶ」

講 師 山下 恭司 会員

昨年、「航空会社の立ち上げとコンサルティング」と題して、話して頂きました山下恭司会員に久々に登場してもらうことにしました。私たち経営士が企業診断で最初に手掛けることは、顧客の企業内容の実態を判断することだと思います。財務分析は診断業務にとって欠かせないツールといえます。

山下会員は税理士の資格を持たれており、今回の月例研修は「何故、財務管理を学ぶのか？」から「決算書の見方」「財務力の診断と改善のポイント」と、より実践的な話をして頂きます。是非共、ご参加ください。お待ちしております。

講師プロフィール 山下 恭司（やました きょうじ）

昭和 22 年 静岡県磐田市に生まれる

昭和 45 年 全日本空輸株式会社入社（運航部門勤務）

昭和 49 年 9 月、「運航管理者」国家試験取得、国内線・国際線の運航管理者として従事、運航路線立上げの傍ら大学院 3 研究科（商学・経済学・法学）を修了

昭和 60 年 税理士資格取得

平成 16 年 株式会社日本飛行船出向

平成 19 年 全日本空輸株式会社定年退職

平成 20 年 株式会社日本飛行船退社

平成 20 年 鈴与株式会社 現「フジドリームエアライン」入社

平成 21 年 フジドリームエアライン 契約期間満了退社

平成 22 年 社団法人日本経営士会入会

7月度

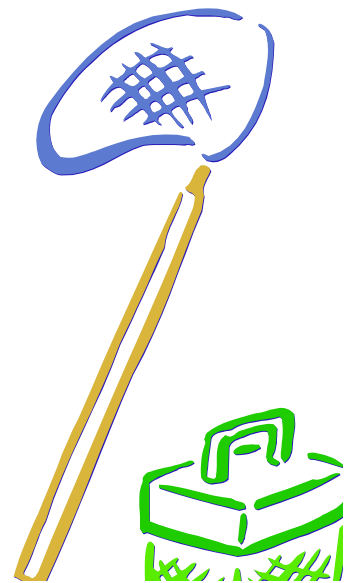
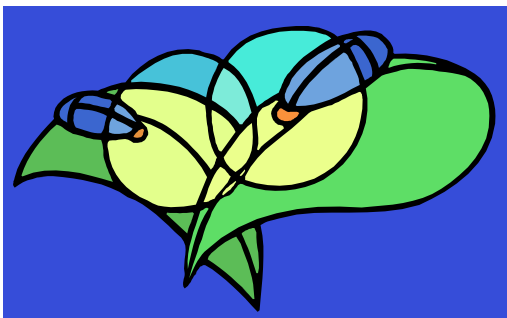
従来の月例研修会を大幅に改革し、コンサルティング実践セミナーと銘打ち、企業内経営士の実践力のアップを目指したいと思います。

月例研修会は支部内の講師を中心に講師の専門分野について発表の場を提供し、広く支部会員が集うための研修を目指しておりましたが、今後支部活動を外向きにシフトして研修に外部参加者を受け入れるためにも、研修内容の充実と体系化を進める必要があるとの結論にいたりしました。そこで、テーマを設定しそのテーマに添ったカリキュラムと教材を用意するための場として研修会を見直し再編することといたしました。

今後は、研修そのものをコンテンツとして対外的に販売することも視野においております。

詳細は現在検討中ですので、7月以降の詳細な研修予定については、支部会員向け連絡用ブログに掲載いたします。

ぜひ新しい研修制度にご期待ください。積極的にご参加いただけるようお願いいたします。



メールアドレスを変更した際は、広報担当 鈴木 (shin_suzuki@nifty.com) まで、新しいメールアドレスをお知らせください。メール未着の場合は、封書による再送ができない場合がございます。その際は支部報を支部ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードをお願いします。